

## あとがき

京都大学藤子不二雄同好会（京大 F 同）の学祭展示にご来場くださり、そしてこの文集をお手に取ってくださって、誠にありがとうございます。

今年は藤子・F・不二雄生誕 80 周年ということもあってか、夏には東京タワーで『藤子・F・不二雄展』が開かれるなど、例年以上に藤子関係の話題に事欠かない一年でした。80 周年の節目だからということで、今年の本誌の特集では有志が魅力あふれるいろいろな藤子キャラ（といってもほんの一部にすぎませんが）を紹介することにしましたが、いかがだったでしょうか？また自由投稿は、どれもメンバーそれぞれの個性や研究の成果が存分に出た、藤子作品への思い入れが感じられるものが揃っています。会場に用意したクイズなども含め、今回の企画が皆さまに藤子作品の面白さや楽しさを伝えられるものとなっていたなら幸いです。

小さい頃からドラえもんが大好きだった僕は、入学して間もなく F 同のピラを見つけて、入会を即決しました。当時はサークルができて 1 年になろうかという頃でしたが、僕が入った辺りから活動が本格的になったので、僕は F 同が成長していく歴史をずっと見てきたと言っても過言ではありません。小さな集まりだったものが、だんだんと同年代の藤子ファン仲間がたくさん集まるようになり活動が充実していったこと、昨年をはじめて参加した学祭で、来場して下さった方々が作品やクイズに夢中になったり私たちに話しかけて下さったりしたことなど、一つ一つが忘れられない大切な思い出となりました。今年もこうして学祭に参加できて、新しい歴史が刻まれることをとても喜ばしく思います。岡崎会長をはじめとした仲間たちの尽力に、ここに感謝したいと思います。みんなありがとう！

大全集刊行からのここ数年、藤子作品に触れることのできる機会は格段に増えたように思います。歳月が経っても、藤子作品は変わらず人々の身近な存在であり続けており、本当にすばらしく、偉大です。ドラえもん誕生まで 99 年を切っています。F 同が今後も藤子熱を絶やすことなく、藤子ファンの集いの場の一つとしてその日を迎えられるような末永く続くサークルになればいいなと思っています。F 同のこれからに期待しつつ、この辺りで筆を置こうと思います。今後も F 同を、そして藤子作品をよろしく願いいたします。

前会長（第 2 代）長谷 悠太